

1. 科目名 (単位 数)	国際社会理解研究 I (2 単位)	3. 科目番号	EIIE4101
2. 授業担当教員	野口 芙美、大橋 真由美		
4. 授業形態	講義、議論、発表	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・ 他科目との関係			
7. 講義概要	<p>本授業では、2 年次に履修した「国際社会理解入門」で紹介された「国境を越えた社会現象」の中で生きる人達の事例を、教育の立場から、教育は誰に対し何を目的に行われるのかをテーマに、理解を深めていきます。グローバル化が進み、社会や人間関係が複雑化する今、「他者を理解する」姿勢はこれまでになく重要となってきています。このように「他者を理解する」立場から、どのような問題が浮上し、どのような解決策があるのかを、読み解く作業を行います。このため、この講義では、国際社会問題についてよりよく理解するため、社会調査法を用いて探求する知識とスキルを身に着けることをも目的としています。</p>		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「国境を越えた社会現象」について具体的に例を挙げながら説明ができる。 2. 国際社会問題と教育の在り方について、意見を述べるができる。 3. 社会調査について簡単に説明ができる。 4. 教育の分野で用いられる調査法について慣れ親しむ。 		
9. アサインメント (宿題) 及びレポ ート課題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業は、毎回発表担当者が進行する。担当者はレジュメまたはPPTを準備しておくこと。担当者以外は事前配布資料等を読み、感想、疑問点などをまとめておく（事前課題）。授業後は授業または扱った文献の感想・コメント、質問をスプレッドシートに記入する（事後課題）。 2. 研究計画書（研究テーマ、研究目的、調査対象及び調査方法を含む）作成する（第10回に研究計画書案を発表、フィードバックを踏まえ改善したものを第15回に再発表する）。 3. 参考文献リストを作成し、そのうち最も自身の研究テーマに参考となる文献について発表を行う（第11回～14回） 		
10. 教科書・参考 書・教材	<p>【教科書】各講義で資料を配布する。 【参考書】谷富夫・山本努編著『よくわかる質的社会調査 プロセス編』ミネルヴァ書房、2010 年 谷富夫・芦田徹郎編著『よくわかる質的社会調査 技法編』ミネルヴァ書房、2009 年 住原則也ほか『異文化の学びかた・描きかた』世界思想社、2001 年</p>		
11. 成績評価の規準 と評定の方法	<p>○成績評価の規準 以下の点が達成されたかを基準とし、評価される。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「国境を越えた社会現象」とは何か説明ができるようになったか。 2. 国際社会問題と教育の在り方について、意見を述べるできるようになったか。 3. 社会調査について簡単に説明ができるようになったか。 4. 教育の分野で用いられる調査法について理解が深められたか。 <p>○評定方法 以下の点を総合して評価する</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 授業への参加意欲・態度 総合点の 20% 2 提出課題（レポート等） 総合点の 50% 3 発表（口頭発表・期末発表） 総合点の 30% <p>なお、本学規定により、3/4 以上の出席が確認できない場合は単位の修得は基本的に認められない。</p>		
12. 受講生への メッセージ	<p>本講義では、主に国内を中心とした国境を越えた社会現象を取り上げます。最先端の資料や論文を読み、どのようなことが明らかになっているか、またなっていないか、批判的な視点を養います。同時に、研究についての基本的な知識と方法についても学び、秋期に向けて自身の研究に必要な知識・スキルを身に付けます。自身がどのようなことに興味・関心を持っているか、国内・海外に目を向け考えながら参加してください。</p>		
13. オフィスアワー	初回の講義で通知する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第 1 回	オリエンテーション、文献・資料の収集方法	事前学習	国際社会理解問題で興味・関心のあるテーマを探してくる。
		事後学習	授業の疑問点、感想・コメントを書く。
第 2 回	国境を越えた社会現象 1（モノの移動）	事前学習	国境を越えた社会現象（モノの移動）に関する事前配布資料を読み、疑問や感想をまとめておく。
		事後学習	授業の疑問点、感想・コメントを書く。
第 3 回	国境を越えた社会現象 2（人の移動）	事前学習	国境を越えた社会現象（人の移動）に関する事前配布資料を読み、疑問や感想をまとめておく。
		事後学習	授業の疑問点、感想・コメントを書く。
第 4 回	SDGs と ESD	事前学習	SDGs と ESD に関する事前配布資料を読み、疑問や感想をまとめておく。
		事後学習	授業の疑問点、感想・コメントを書く。
第 5 回	言語政策	事前学習	言語政策に関する事前配布資料を読み、疑問や感想をまとめておく。
		事後学習	授業の疑問点、感想・コメントを書く。
第 6 回	日本語教育	事前学習	日本語教育に関する事前配布資料を読み、疑

			問や感想をまとめておく。
		事後学習	授業の疑問点、感想・コメントを書く。
第7回	多文化共生の現状	事前学習	多文化共生の現状に関する事前配布資料を読み、疑問や感想をまとめておく。
		事後学習	授業の疑問点、感想・コメントを書く。
第8回	日本における外国人労働者	事前学習	日本における外国人労働者に関する事前配布資料を読み、疑問や感想をまとめておく。
		事後学習	授業の疑問点、感想・コメントを書く。
第9回	外国人児童に対する支援	事前学習	外国人児童に対する支援に関する事前配布資料を読み、疑問や感想をまとめておく。
		事後学習	授業の疑問点、感想・コメントを書く。
第10回	研究計画発表、参考文献リスト発表	事前学習	興味・関心に沿って文献を検索しリストを作成する。研究計画書を作成する。
		事後学習	フィードバックを踏まえ、研究計画を修正する。また、修正した計画に沿って文献を再検索し、リストを作成し直す。
第11回	文献発表・発表者①	事前学習	発表担当者は発表の準備をする。担当者以外は発表者の発表文献資料を読み、疑問や感想をまとめておく。
		事後学習	授業の疑問点、感想・コメントを書く。
第12回	文献発表・発表者②	事前学習	発表担当者は発表の準備をする。担当者以外は発表者の発表文献資料を読み、疑問や感想をまとめておく。
		事後学習	授業の疑問点、感想・コメントを書く。
第13回	文献発表・発表者③	事前学習	発表担当者は発表の準備をする。担当者以外は発表者の発表文献資料を読み、疑問や感想をまとめておく。
		事後学習	授業の疑問点、感想・コメントを書く。
第14回	文献発表・発表者④	事前学習	発表担当者は発表の準備をする。担当者以外は発表者の発表文献資料を読み、疑問や感想をまとめておく。
		事後学習	授業の疑問点、感想・コメントを書く。
第15回	研究計画発表・国際社会理解研究のまとめ	事前学習	研究計画書・参考文献リストを作成する。これまでの内容を振り返り、疑問点を明らかにしておく。
		事後学習	フィードバックを踏まえ、研究計画を見直し計画書を完成させる。